

krewData プラン検討の手引き



2つの実行プラン

利用用途によって向き／不向きがあります

スケジュール実行プラン

時間指定で実行

スケジュール



スケジュール設定
 ・毎日・毎週・毎月・毎年
 ・時刻
 etc

スケジュール #1

パターン: 毎月

日: 31 月の最終日を設定

曜日: 最終 月曜日

時刻: 12:00



スケジュールされた
日時になったら

自動的に実行



リアルタイム実行プラン

何かしらのユーザー操作を「きっかけ」に実行

Webhook

レコードの追加
 レコードの編集
 レコードの削除
 コメントの追加
 ステータスの更新
 (プロセス管理)



Webhookによる
通知

通知を受信した
タイミングで実行



API

発注依頼
ボタンClick!

発注依頼

分類: 文房具

商品名: 4B鉛筆

※入出荷数: 出荷の場合は「-」をつけて入力してください。

在庫確認・入荷日	入出荷数	備考
2020-08-21	30	入荷

現在の在庫数

30



APIで呼び出し

呼び出しを受信した
タイミングで実行



いずれのプランでもプラグイン設定画面からの手動実行は可能です。
 この用途のみでご利用の場合はスケジュール実行プランをお勧めします。

※API呼び出しにはカスタマイズが必要

プラン検討方法

	スケジュール実行	リアルタイム実行
集計方法	スケジュール (時間指定)	Webhook API呼び出し
共通で利用可能な 実行方法	プラグイン設定画面からの手動実行	
処理レコード数上限	200,000レコードまで	10,000レコードまで
集計対象 レコード	対象業務に 関連するレコード全件	操作したレコードに 関連する特定レコード
集計タイミング	日次・月次など (自動実行)	レコード追加／更新 ボタン押下など (ユーザー操作により実行)
対象業務の特徴	定期集計	即時集計
グループ実行 *1	不可	可能
同時実行制御 *2	不可	可能

■確認ポイント

検討中の用途の以下のポイントを確認してください。

- Webhook または API (カスタマイズ) の可否
- 処理レコード数
- 集計タイミング

■お勧めの検討順

1. スケジュール実行で実現可能かを検討
2. リアルタイム実行で実現可能かを検討
3. リアルタイム実行の処理制限に該当しないかを確認
(次ページ以降に詳細)

実行方法がより簡単で扱いやすいため、スケジュール実行で実現可能な要件の場合はこちらがお勧め。

各実行プランの料金は[こちら](#)

*1 複数のデータ編集フローを指定した順番に実行できる機能

*2 複数人から呼び出し時に順番に実行することで整合性を保とうとする機能

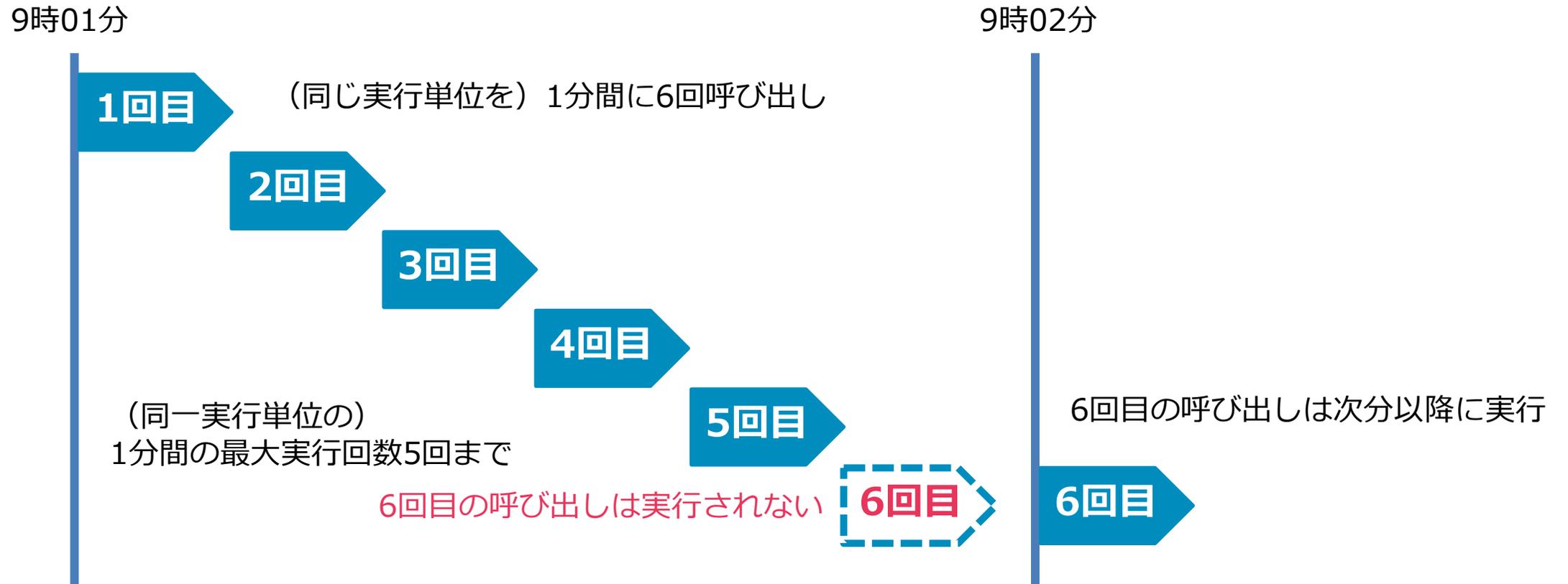
リアルタイム実行プランの処理制限

1. 1分間に実行できる回数は5回まで
 - 大人数で頻繁に更新するケースや大量レコードを高頻度で更新
2. スケジュール実行との同時実行不可
 - スケジュール実行とリアルタイム実行の並行実行
3. 複数実行単位の同時出力レコード数2万レコードまで
 - 複数アプリによる大量更新を並行実行

**これらの制限に該当しない場合は
リアルタイム実行プランを検討可能です**

1. 1分間に実行できる回数は5回まで

1つの実行単位を1分間に実行できる回数は最大5回までです。1分間に6回以上呼び出された場合、6回目の呼び出しは次の分以降に実行されます。



※同時実行の可否はオプションで設定可能（不可に設定した場合、同時実行の要求はキャンセルされます）

【大人数による頻繁なデータ更新】

(1分あたり5回以上の実行が頻繁に発生するケース)

ケース例

- 大人数が業務で利用するアプリ
- 月次報告など特定のタイミングで急激に稼働が上がるアプリ

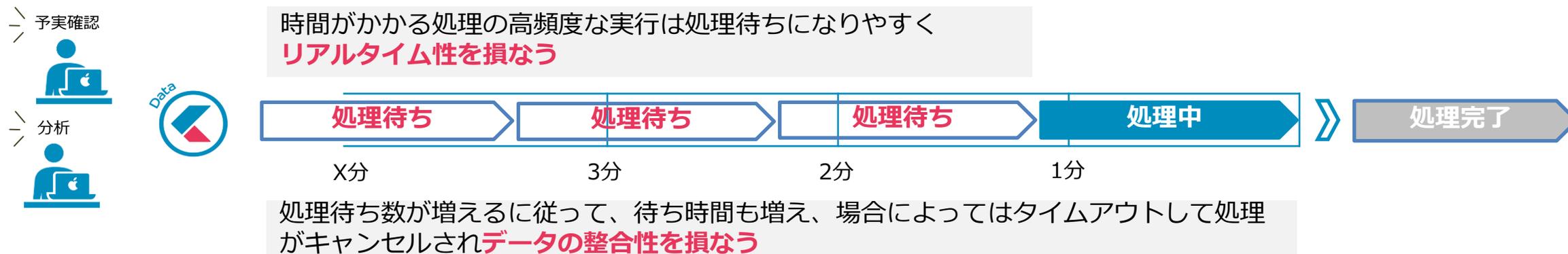


【処理時間の長い更新が頻繁に発生】

(krewDataの処理時間が10分を超えるケース)

ケース例

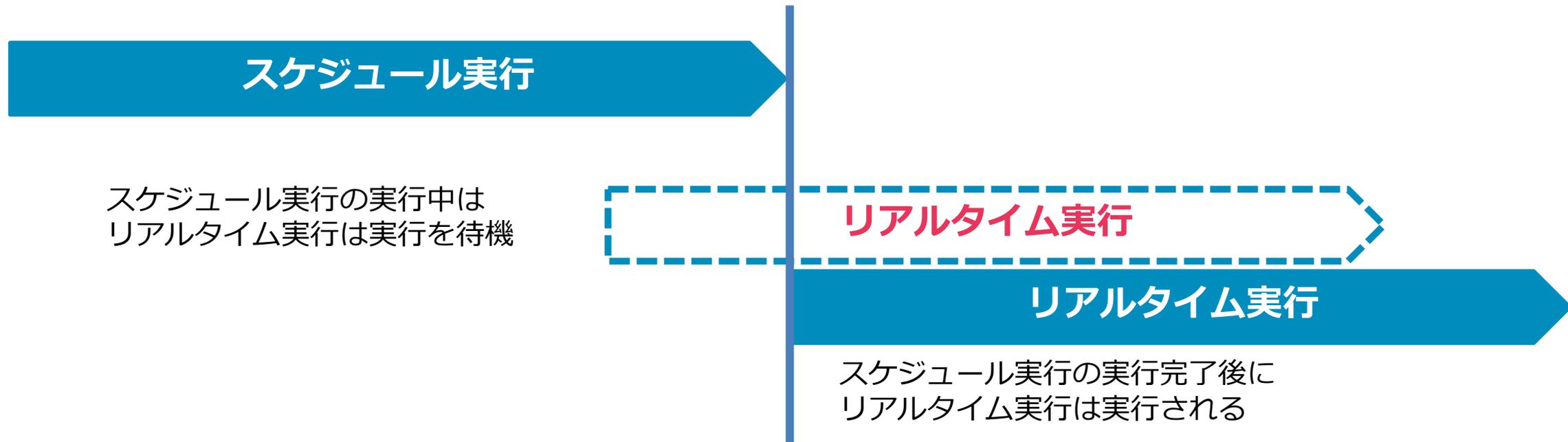
- 各部門・担当者ごとに自身に関連する予実を集計するアプリ



2. スケジュール実行との同時実行不可

スケジュール実行のデータ編集フローが同一ドメイン環境で実行中の場合、リアルタイム実行のデータ編集フローは実行されません。リアルタイム実行のデータ編集フローが実行要求された場合は実行を待機し、スケジュール実行が完了した後に実行を開始します。

スケジュール実行中にリアルタイム実行を呼び出した場合

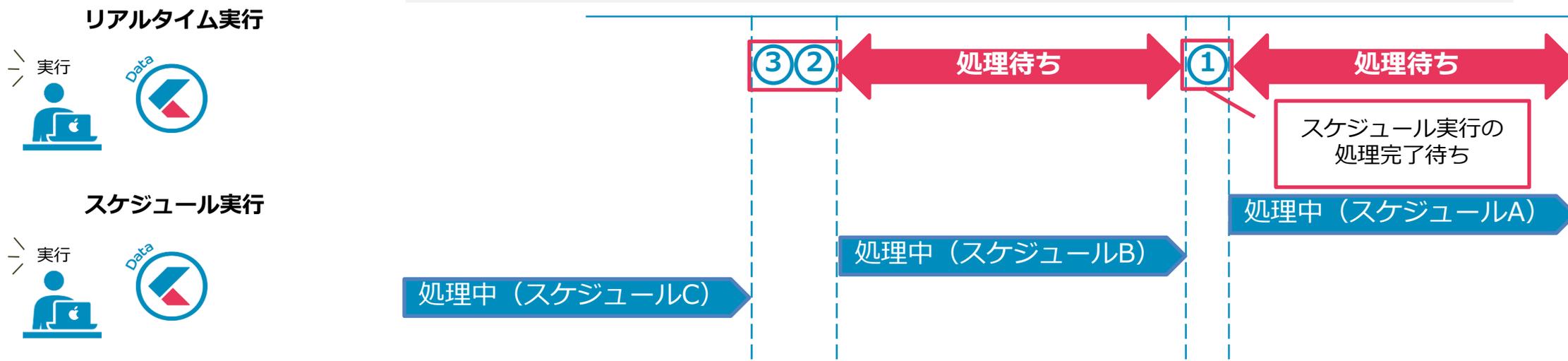


【同時時間帯でスケジュール実行とリアルタイム実行の併用】

ケース例

■ スケジュール実行と常時稼働するアプリのリアルタイム実行の併用

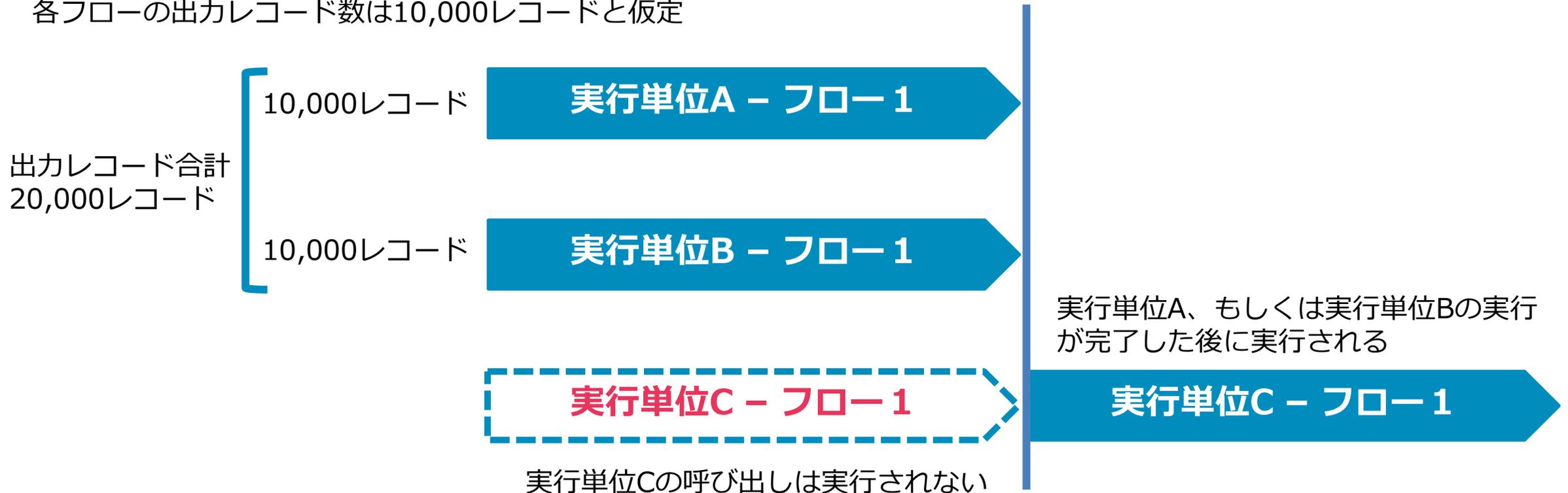
スケジュール実行が優先的に実行され、すべてのリアルタイム実行が処理待ちになるため、同時時間帯での利用は**リアルタイム性を損なう**



3. 複数実行単位の同時出力レコード数2万レコードまで

同一ドメイン環境で、複数の実行単位が同時に実行されている場合、同時出力可能なレコード数は最大20,000レコードまでです。

例) 3種の実行単位を同時実行
各フローの出力レコード数は10,000レコードと仮定



【複数の実行単位で大量レコードを並行実行】

(合計2万レコード以上を並行実行するケース)

ケース例

■ 各部門・担当者ごとに自身に関連する予実を集計するアプリ

10

複数実行単位から大量レコード処理を並行実行すると同時出力レコード数上限による処理待ちが頻出しやすく **リアルタイム性を損なう**

アプリ A 実績集計登録
処理レコード：10,000



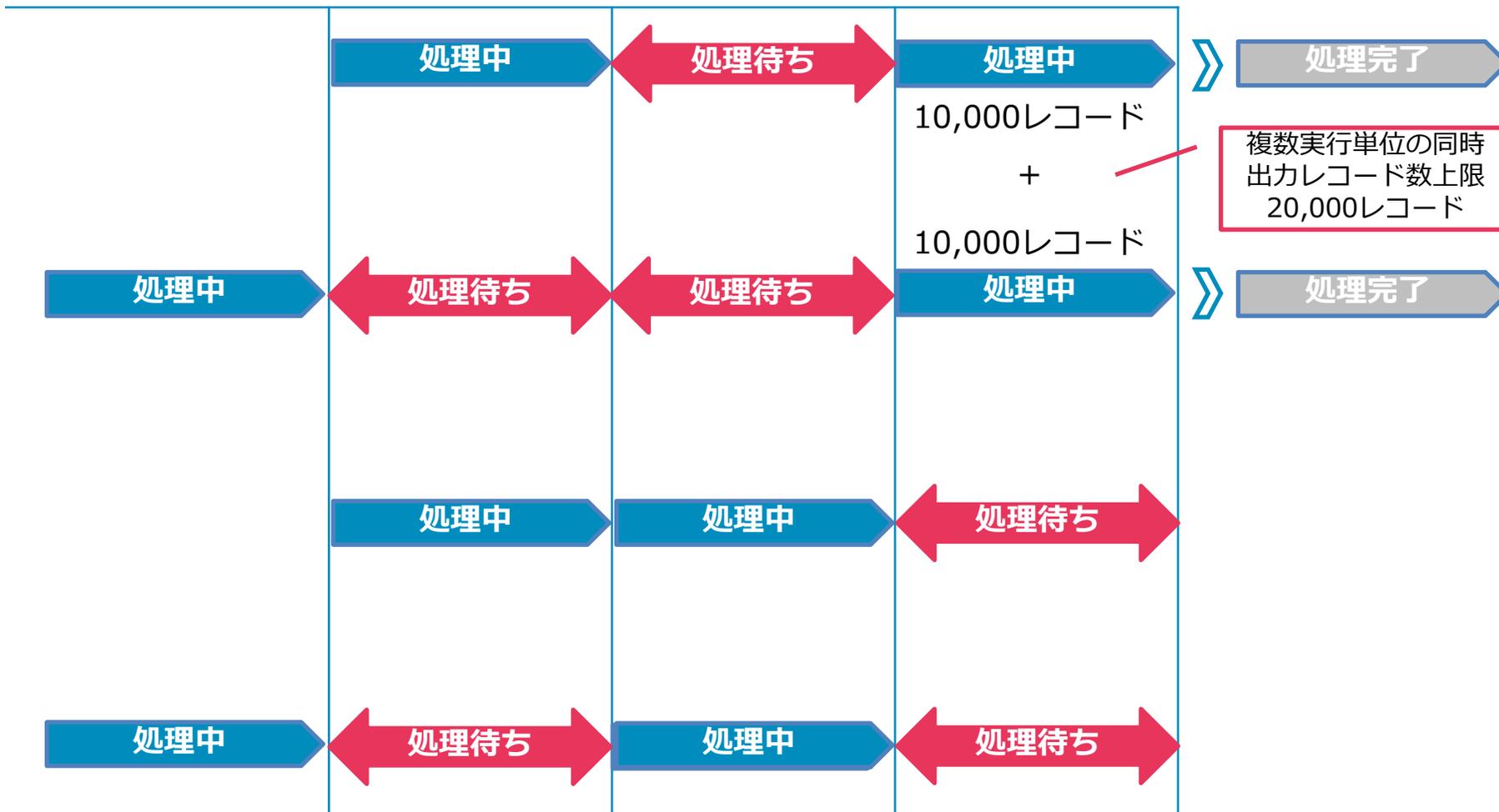
アプリ B 予算集計登録
処理レコード：10,000



アプリ C 在庫一括更新
処理レコード：10,000



アプリ D ルックアップ更新
処理レコード：10,000



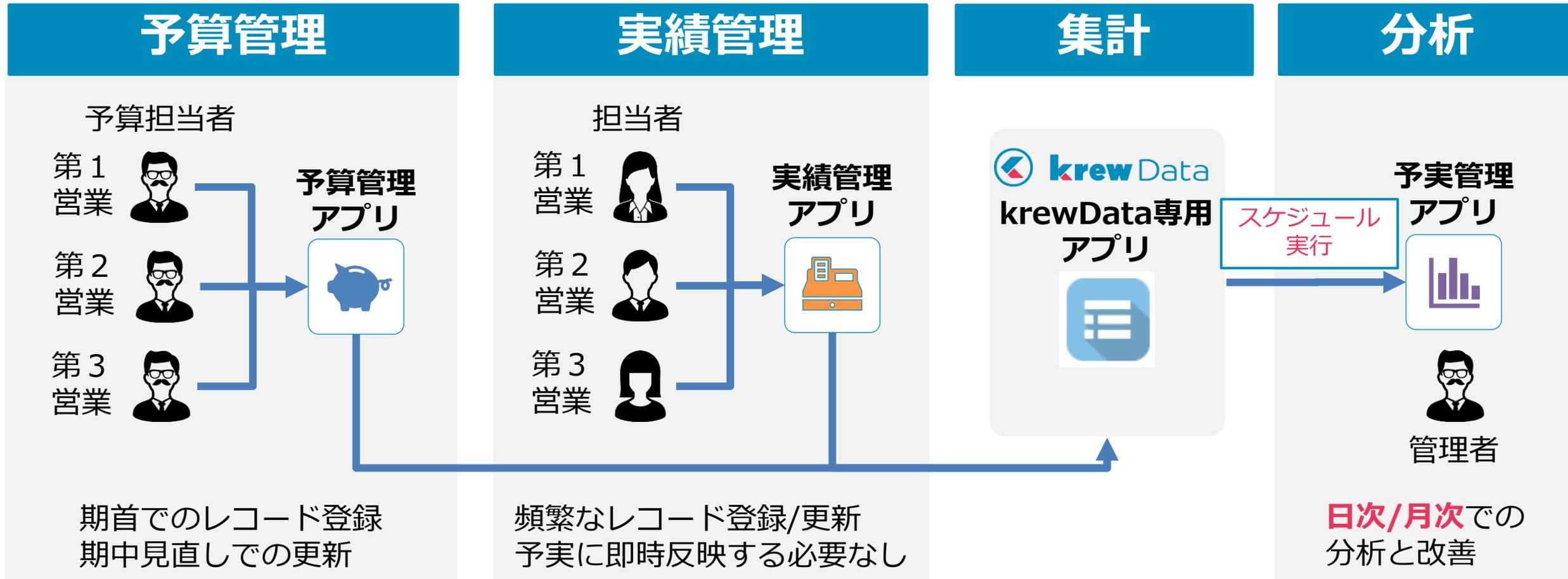
代表的な利用例



代表的な業務の向き／不向き

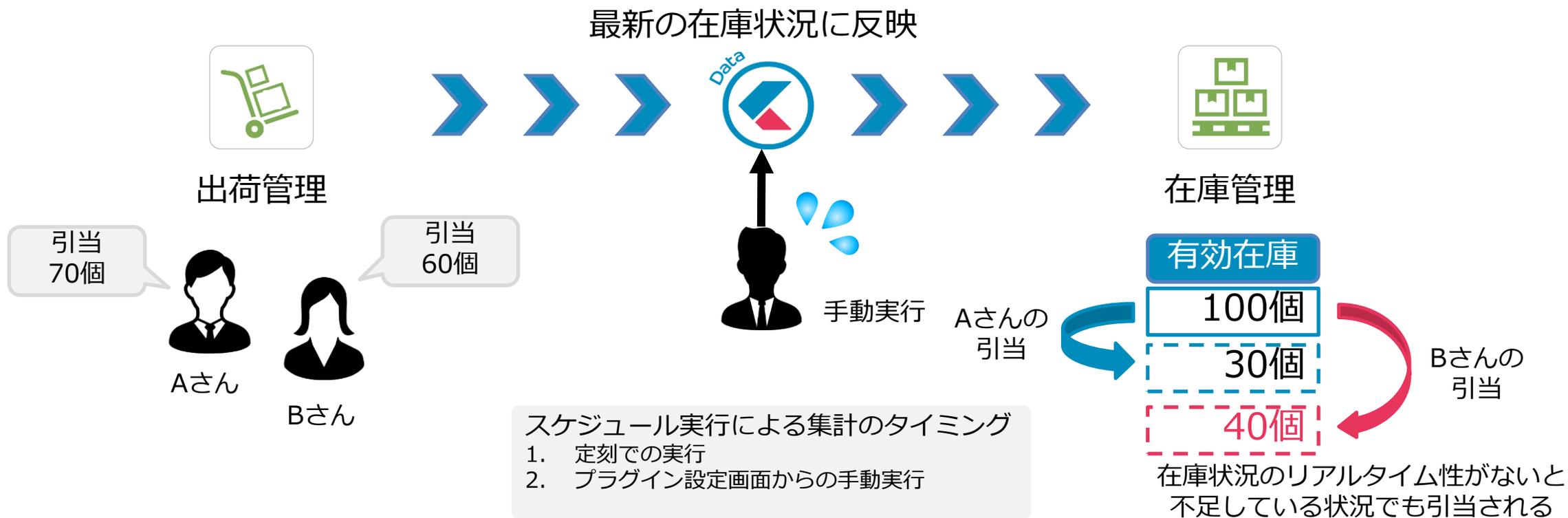
代表的な業務	スケジュール実行	リアルタイム実行	備考
予実管理	◎ 最適	▲ 不適	大量レコードを定期的に行う。
請求管理	◎ 最適	○ 適	定期実行または特定の管理者が必要なタイミングではスケジュール実行。リアルタイム実行の場合は、APIによりボタン押下で集計も可能。
在庫管理	▲ 不適	◎ 最適	リアルタイム性が求められる。
経費予算管理	▲ 不適	◎ 最適	リアルタイム性が求められる。
マスタ更新	○ 適	○ 適	大量レコードかつ即時性が求められない場合はスケジュール実行。即時性が求められ、集計レコードが少ないものはリアルタイム実行。

予実管理【スケジュール実行向き】



大量のレコードを集計し、その集計結果を使って定期的に状況把握・分析するような業務にはスケジュール実行が向いている

スケジュール実行が不向きな利用ケース例



アプリ間(業務間)でレコードのリアルタイム集計が必要。

アプリの操作に連動して集計が必要だが、スケジュール実行ではそのリアルタイム性を満たせない。

在庫管理【リアルタイム実行向き】

出荷管理

担当者



出荷管理
アプリ



①ステータスを引当に更新（ユーザーがレコード操作）

ステータス	品目名	受注日	受注数	出荷日	出荷数
引当	品目A	2020/4/20	200		

②ステータスを出荷に更新（ユーザーがレコード操作）

ステータス	品目名	受注日	受注数	出荷日	出荷数
出荷	品目A	2020/4/20	200	2020/4/25	200

集計



在庫管理

在庫管理
アプリ



（操作①に連動して）関連する品目の有効在庫数を即時集計

入出荷日	品目名	入庫数	引当数	出荷数	有効在庫数	実在庫数
2020/4/15	品目A	270			450	450
2020/4/20	品目A		200		250	450

（操作②に連動して）関連する品目の実在庫数を即時集計

入出荷日	品目名	入庫数	引当数	出荷数	有効在庫数	実在庫数
2020/4/15	品目A	270			450	450
2020/4/20	品目A		200		250	450
2020/4/25	品目A			200	250	250

関連する業務間の整合性を担保するために、**担当者の操作**をきっかけにし、**特定**のレコードを**即時**集計する必要がある業務にはリアルタイム実行が向いている